

週間漁海況情報—第11号

平成28年3月22日

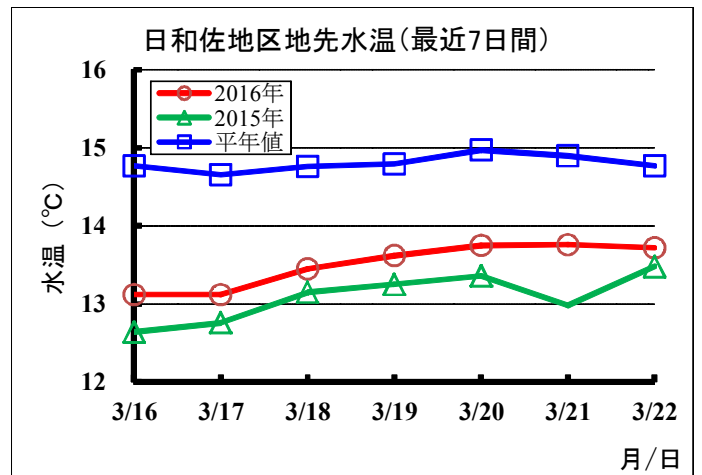
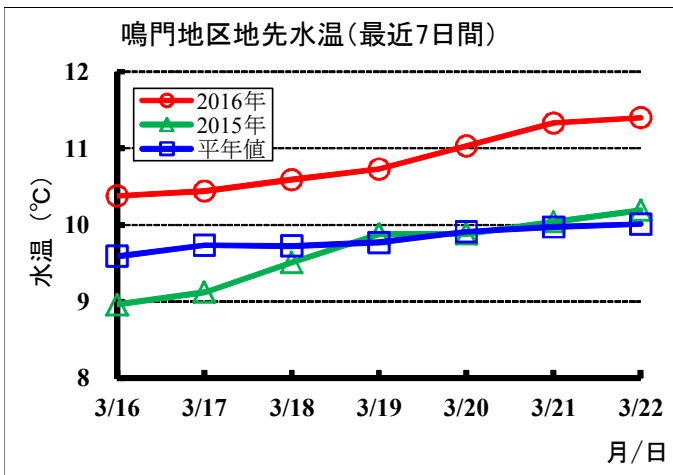
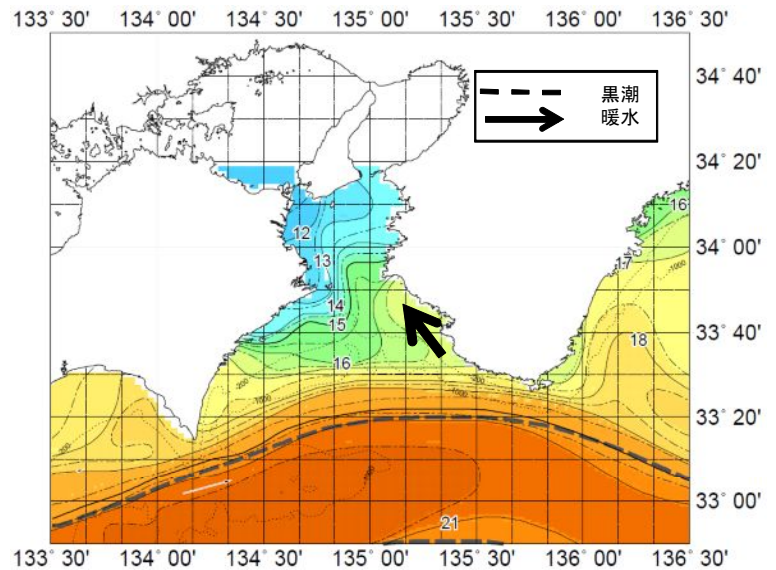
内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H28.3.22）を示した。

黒潮本流の表面水温は20～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で11℃台、紀伊水道で11～15℃台、海部沿岸では12～17℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸からの暖水流入が見られる。



地先水温：最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の10.4～11.4℃、日和佐地区は「低め」～「やや低め」の13.1～13.8℃、牟岐地区は「低め」～「平年並み」の13.2～14.5℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

*平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.2トン（1日1隻あたり14kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で中主体にヒラメが0.4トン（同12kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で特大主体にマアジが1.6トン（同177kg）、小主体にさば類が2.8トン（同311kg）、ハマチが1.0トン（同108kg）、メジロが0.3トン（同33kg）、ブリが0.2トン（同27kg）、小主体にスルメイカが0.2トン（同24kg）、大主体にイシダイが0.5トン（同58kg）、大主体にクロダイが0.2トン（同24kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸でメジロが0.2トン（同11kg）、タチウオが0.6トン（同100kg）、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.7トン（同80kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2016年3月14日～2016年3月20日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	キダイ	18	243	14	大主体	
建網		ヒラメ	37	440	12	中主体	
大型定置網		マアジ	9	1,597	177	特大主体	
		さば類	9	2,796	311	小主体	
		ハマチ	9	969	108		
		メジロ	9	293	33		
		ブリ	9	247	27		
		スルメイカ	9	216	24	小主体	
		イシダイ	9	524	58	大主体	
		クロダイ	9	216	24	大主体	
釣り		海部沿岸	メジロ	18	203	11	
			タチウオ	6	598	100	
	紀伊水道	タチウオ	9	716	80	特大主体	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の3月16日～3月22日には、海部沿岸では、延縄で大主体にキダイが0.7トン、大主体にサバフグが0.8トン、中・大主体にアマダイが0.2トン、建網で中・小主体にヒラメが0.2トン、メジロが0.2トン、大型定置網でいわし類が0.8トン、特大主体にマアジが0.3トン、小主体にスルメイカが0.7トン、ハマチが0.5トン、大主体にイシダイが0.2トン、釣りで大主体にアオリイカが0.2トン、大主体にサワラが0.2トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」～「高め」の11℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並み」の13～14℃台で推移する見込み。